

くにさき

ふれあいネットワーク



社協だより



【写真】 くにさきケアセンター やすらぎデイサービス (安岐支所) 春のお花見会

特集

東日本大震災 被災地支援レポート

2011.6.20
社会福祉法人
国東市社会福祉協議会

第22号

- ボランティア養成講座を開催！
- 支所トピックス
- 温泉で入浴サービス開始！
- 平成23年度ボランティア協力校紹介等
- 平成22年度事業報告・決算報告
- 善意のお礼
- お知らせコーナー

～ 支えあい助けあいの地域づくり ～

東日本大震災

社協職員の被災地支援レポート

私は、東日本大震災の発災から3週間が経過した4月初旬、福島県相馬郡新地町に支援に入りました。新地町は宮城県と県境を接する太平洋に面した人口8千人ほどの小さな町です。

各被災地では、発災直後から現地に駆けつけていち早く支援活動をしているNPO団体も多数ありましたが、社協からも災害ボランティアセンター（以下、災害VC）運営支援のために全国から多くの職員が派遣されて活動していましたが、新地町にはまだ災害VCが開設されていませんでした。

被災地支援に欠かせないもの、それは「ひと・モノ・かね・情報」です。まず、「ひと（ボランティア）」を受け入れるために早急に災害VCを立ち上げなければならず、そのために必要な「かね」の調達（災害VC支援のために共同募金会への支援金の申請作業）から取りかかりました。また、支援活動の協力者となる「ひと」を求めて、被災を免れた区長会長さんや民児協会会長さんのお宅を、新地町社協の事務局長と一緒に訪問して、災害ボランティア活動（災害VC開設）に関するご理解とご協力をお願いをし、区長会や民児協の会議の席上で説明させてもらえるように調整を行いました。

さらに、「情報」を収集するために新地町内に開設されている5ヶ所の避難所も見て回りました。4ヶ所は津波被災地区の住民が地区まるごと避難生活を送っていましたが、日頃の支えあい助けあいによる自主運営が良い形で確立されていました。しかし、1ヶ所（駒ヶ嶺公民館）は原発周辺の人たちが避難生活を送っており、日頃無関係で初めて顔を合わせる人々が多く、コミュニティの形成が出来ていませんでした。



持参したカードゲームを子ども達に配りました。喜んでもらえたかな？



避難所の子ども達の笑顔に元気をもらって頑張れました！



支援物資はニーズに応じて必要な人が必要な物を必要なだけ自由に持ち帰れるようにされていました。参考になります。

相談件数	相談者数	相談内容
386	7	鈴木(千葉県) 川口(千葉県)
427	10	長谷川(千葉県) 吉田(千葉県)
781	7	中野(千葉県) 山崎(千葉県)
161	2	久米(千葉県) 高橋(千葉県)
70	0	和田(千葉県) 小池(千葉県)
56	1	渡部(千葉県)
15	0	
96	8	
198	5	
1,590	40	

福島県災害VCの掲示板。毎日数千件にも及び支援活動の相談と、全国から集まる支援者を市町村に配置すること等で忙殺されていました。VC運営も各県の支援者が担っていました。

長期にわたる避難所生活の後には仮設住宅での生活等もあり、今回の東日本大震災の支援も息の長い取組みにしていかなければなりません。誰かが計算していましたが、「日本国民約200人で被災者1人の生活を支えられる。だから毎月500円を募金しよう。」そんな無理をしない取組みが望まれます。

被災地支援は一人の支援者が最初から最後まで関わることは難しく、多くの支援者が想いをつないでひとつの大きな支援となっていきます。私も支援活動を後任の支援者に引き継ぎ、その後まもなく新地町にも災害VCが開設されました。

およそ一週間の支援活動は頻発する余震の中を自給自足・不眠不休で奮闘しましたが、災害時の福祉（ボランティア）について学ぶことも多く、全国の社協職員をはじめとした支援活動者とも知り合えたことは大変良い経験にもなりました。

私は、今回の被災地支援で、日頃の顔が見える関係づくり、会話が出来る関係づくりが、いかに大切であるか改めて痛感させられました。災害の知識や防災のテクニックを学ぶことも大切ですが、一番大切なことは地域の中の人と人との“絆”づくりです。支えあい助けあいの地域づくりを進めることが取りも直さず“災害に強い地域づくり”となるのです。

国東市でも“自分たちの地域は自分たちで守ろう”を合言葉に、日頃から“支えあい助けあいの地域づくり”を進めていきましょう。

国東市社協 地域福祉課 藤原龍司

ボランティア養成講座を開催！

社協では、新しいボランティアの育成を目的としてボランティア養成講座を実施しました。22年度はサロン支援者等を対象に新しいレクリエーションを学ぶ内容として『コミュニケーション麻雀』と『ふれあい囲碁』の講座を開催し、多くのボランティア（指導者）を養成しました。

コミュニケーション麻雀編

2月25日、3月4日、10日の3回で23名が受講しました。第1回は兵庫県から講師（栗木剛さん）を招いて、レクリエーションの近年の動向や新しい種目・由来など色んな話を聞きました。参加者も2回3回と回を重ねるごとに理解が深まり、麻雀の経験者も未経験者も一緒になって楽しく学びました。



関西弁の軽妙なトークで面白おかしく教えてくれました。



大きい牌は混ぜにくいなあ。この重さが手首に良いんです！



どれにしようか一緒に悩んで、会話も弾みます！

ふれあい囲碁編

3月8日、15日の2回で18人が受講しました。武蔵町の澤田奎一さんが講師となり、「囲碁の勝ち負けではなく会話によるふれあいを大切にする」ことや「参加者の表情に気を配って会話を引き出すように」など、指導役を務めるうえでの心構えも併せて講義があり、実技も楽しみながら受講しました。



講義も本格的！まずは指導者としての心構えから。



世代間交流にも使えます！ルールも簡単♪



「ねえ、そこに置いたらいいんじゃない？」 会話がたえません。

『コミュニケーション麻雀』と『ふれあい囲碁』は、どちらも通常は個人ごとに競いあうところを、道具を大きくすることでチーム対チームで行えるようになっていて、通常の麻雀や囲碁のルールを全く知らなくても楽しめます。チームで行うことが会話《コミュニケーション》を生み、競い合うことよりも会話を楽しむことに主眼を置いたレクリエーションです。地域住民同士の“絆”を深めることに一役買うこと請け合いですし、認知症予防などの健康づくりの効果も期待できます。あなたの地域でもサロンなどのちょっとした集まりで『コミュニケーション』してみませんか？楽しいですよ！お問い合わせは社協まで。

国東支所

三波小春がやってきた♪



「こんにちは〜♪こんにちは〜♪セ
かいの〜くに〜から〜♪」くにさきケ
アセンターのみデイサービスに三波
小春さんの歌声が響きました。
利用者の皆さんと一緒に歌う姿は本
物の三波春夫さんにそっくり！
三波小春さん（本名：明石浩一郎）
は国東町出身ということが縁で今回な
のみを訪問していただきました。
「歌で高齢者に元気を届けたい！」
と活動を続けているそうです。その言
葉通りデイサービスの利用者に笑顔と
元気を届けて頂きました。

国見支所

在宅育児を応援します！



国見児童館では在宅育児の親子サークル活
動を支援しています。
毎週火・木曜日（十時〜十二時）育児サー
クル『星の子クラブ』で保育園・幼稚園に行っ
ていない家庭保育の親子が児童館に集まって
活動をしています。

子どもたちは自由遊びを
中心に、季節の行事や体操
教室などで楽しく過ごしてい
ます。
子育ての情報交換やお友
達作りに、ぜひお気軽にお越
しく下さい。

安岐支所

満開の桜を愛でる♪



くにさきケアセンターやすらぎ
デイサービスでは、四月十一日から
十五日まで、満開の桜の下でお花見
をしました。ポカポカの陽気の中で
たくさん笑い声も聞こえ、甘酒を
片手に歌う方、歌に併せて舞踊を披
露してくれる利用者さんまで♪
そして花見と言えばやっぱりお
花見弁当。「外で食べるとまた違っ
たなあ」「いつもより、ようけ食べち
しもうたわあ」と、いつもとは違う場
所と雰囲気皆さんご満悦の様子で
した。
元気な笑顔に囲まれて楽しく過ご
せた春の一日となりました。

本所

瑠璃光寺の養生訓！



四月二十七日の武蔵地区「二人暮らし
高齢者の集い」は安岐町の瑠璃光寺に
行って住職さんの説法を受けました。

「人生は九十歳から上が丸儲けじゃ！
最低でも九十歳、最高は百三十歳を目指
してまずは健康であること、その為には
…」とユーモアたっぷりの養生訓を聞い
てから、サルスベリの巨木を眺めつつお
茶と漬物を頂きました。武蔵保健福祉セ
ンターでボランティアグループ「健やか
会」による手作りの季節の料理に舌鼓を
打って、午後からは「コミュニケーション
麻雀」でゲームと会話も楽しみながら、
参加者同士ふれあえた一日になりました。

🌊 温泉を使った入浴サービス始めました!

●平成 23 年度から訪問入浴事業において、赤根の温泉水(源泉)を利用した温泉サービスを始めました。毎回というわけにはいかないものの、温泉水を積んだ訪問入浴車でご自宅を訪問し、お部屋の中で温泉に入る事ができるようになりました。

利用者さんに感想を聞いてみると、『体の温まり方が全然違う』『若いころ温泉に行きよったのを思い出すわぁ』と好評のようです。ご家族の方も、『匂いがいいなぁ』『温泉に入った日の夜はよく眠れよることあるわぁ』との感想をいただきました。

現在、訪問入浴を利用されている方には、温泉サービスをなるべく多く提供できるように、職員一同努力してまいりますのでお楽しみに!

また、デイサービスでも同様に温泉水を使った足湯サービスを始めました。こちらも利用者さんに好評です。

●自宅で入浴できずにお困りの方や、デイサービスの利用をご希望の方は、担当のケアマネージャーにご相談ください。



訪問入浴車でご自宅にうかがいます。



自宅でも温泉で湯ったり♪

今年度のボランティア協力校

社協では毎年、ボランティア体験や交流活動・福祉教育等を推進する学校を『ボランティア協力校』に指定しています。今年度の指定校は次の七校です。

- 大分県立 国東高等学校(国東)
- 国東市立 来浦小学校(国東)
- 富来小学校(国東)
- 旭日小学校(国東)
- 武蔵西小学校(武蔵)
- 安岐中学校(安岐)
- 安岐小学校(安岐)



HP始めました!

国東市社協のホームページをつくりました。興味のある方は下記をご参照ください。随時更新していきます。

<http://www.kunisaki-wel.or.jp/kunisaki-wfc/>

一部役員の改選がありました!

社協役員の一部改選が行われ次の方々が就任しました。

- 会長(理事) 三河 明史(行政)
- 理事 松本 初男(住民代表的団体)
- 監事 小川 進(学識経験者)

新人職員紹介

四月一日付で新しく四名の職員が入りましたので紹介します。



安岐支所 デイサービス
介護職員
松本 章

慣れない仕事ですが、職員とのチームワークを大切にし、利用者さんに早く名前を覚えてもらえるように頑張ります。よろしくお願いします。



国東支所 デイサービス
介護職員
南松 聖吾

大変な仕事ですがとてもやり甲斐があります。きつい事にも積極的に取り組み利用者さんに喜んで頂けるように頑張ります。よろしくお願いします。



国東支所 事務局
庶務係(6/1より)
堀 晶子

仕事を始めて早2ヶ月が経ちます。どんな時も感謝の気持ちと笑顔を忘れず頑張っていきたいと思えます。よろしくお願いします。



本所 地域福祉課
地域福祉係
後藤 彰一

早く業務を覚え、地域福祉の向上に少しでも役立てるよう力を尽くしたいと思えます。よろしくお願いします。

平成22年度の事業報告と決算が、平成23年5月23日の理事会・評議員会で承認されましたので概要をお知らせします。

平成22年度 事業報告

【法人運営事業】

役員会等		敬弔活動		会員募集		【善意銀行事業】 寄 付	
理事会	4回	弔旗設置・線香御供	458件	一般会員	7,330件	香典返し	339件
評議員会	4回	初盆御供	277件	特別会員	203件	一般寄付	13件
監査会	1回			賛助会員	3件	物品寄付	5件
				団体会員	5件		

【地域福祉事業】

事業名	内 容	実 績		
ふれあいネットワーク会議	地域住民主体のネットワーク会議の参加要請訪問活動	30地区		
	地域住民主体のネットワーク会議に参加・事業説明等	12地区		
黄色い旗運動	毎朝黄色い旗を玄関先などに掲げて地域住民同士が安否確認を行う運動の事前協議や区民説明会を実施	5地区		
安心箱の設置	70歳以上の一人暮らし高齢者に配布 [累計 1808 個]	125個		
国東市福祉のつどい	表彰 (被表彰者 35 名、3 地区)、活動報告など	約 350 名		
国東市こどもまつり	ボランティアの心を醸成、児童の世代間交流など	約 480 名		
児童による愛のお便り運動	市内の小学生から地域の高齢者へ敬愛の手紙を送る	1,382 通		
無料法律相談	弁護士による法律相談・助言指導	(全 12 回) 60 名		
生活福祉資金貸付	低所得者などの世帯に、必要に応じて資金を貸付	14 件		
ボランティア協力校	ボランティア精神養成のため市内の学校を協力校に指定	8 校		
青少年福祉体験教室	福祉施設で車イス体験などを実施	(全 4 回) 102 名		
ふれあい学習	障がい者の体験談でノーマライゼーションを学習	35 名		
福祉用具貸出	電動ベッド・車イス・歩行器などを無料で貸出	89 件		
社協広報誌の発行	住民への情報提供、社協活動の広報誌を全戸配布	5 回		
ボランティア養成講座	サロン支援者等に新しいレクリエーション講座を開催	(全 5 回) 41 名		
ふれあいスポーツ大会	高齢者・障がい者・母子・児童の交流 (4 町で実施)	約 1,300 名		
一人暮らし高齢者の集い	交流・健康づくり・生きがいがづくり (4 町で 31 回実施)	1,276 名		
給食サービス	ボランティアの手作り弁当を民生委員が月に 1 回一人暮らし高齢者などへお届けする。2 町で全 17 回配達	1,511 食		
団体事務局	民生委員児童委員連合会・協議会の事務局	(市及び各地区) 6 団体	母子寡婦福祉会の事務局	(市及び各地区) 5 団体
	老人クラブ連合会の事務局	(市及び各地区) 5 団体	ボランティア連絡協議会の事務局	(市) 1 団体
	身体障害者福祉協議会の事務局	(市及び各地区) 5 団体	赤い羽根共同募金会の事務局	(市) 1 団体

【介護保険等事業】

居宅介護支援	ケアマネージャーによるケアプランの作成など	延 2,911 名
訪問介護	ヘルパーによる生活援助、身体介護等	延 24,293 名
訪問入浴介護	入浴車で訪問し、在宅での入浴サービス	延 2,078 名
通所介護	デイサービスでの食事・入浴サービス等	延 17,091 名
特定高齢者通所介護	介護予防を目的としたデイサービス	延 3,356 名

【児童館等事業】

児童館事業	1 児童館 (国見) で実施。(260 日開館)	延 4,875 名
放課後児童クラブ	2 町 4 クラブで実施。	延 23,425 名

【生活支援ハウス事業】

居宅生活に不安のある高齢者に住居を提供。

【日常生活自立支援事業】

福祉サービス利用援助、日常的金銭管理など

支援回数 延 159 回

平成22年度 決算報告

資金収支計算書

(単位:円)

《 収 入 》		《 支 出 》	
会費収入	4,141,500	人件費支出	348,766,384
寄附金収入	14,124,581	事務費支出	17,663,922
経常経費補助金収入	50,000,000	事業費支出	51,709,803
助成金収入	251,000	負担金返還金支出	57,066
受託金収入	61,893,998	受託金返還金支出	11,097,181
事業収入	570,646	共募配分金事業費	4,911,030
償還金収入	3,000	助成金支出	390,000
共同募金配分金収入	5,728,280	負担金支出	38,100
負担金収入	24,202,166	会計単位間繰入金支出	1,215,759
介護保険収入	274,691,847	経理区分間繰入金支出	107,465,530
自立支援費等収入	9,468,060		
雑収入	2,233,980	経常支出計	543,314,775
利息配当金収入	330,367	経常活動資金収支差額	13,005,939
会計単位間繰入金収入	1,215,759	固定資産取得支出及び繰入支出	2,712,650
経理区分間繰入金収入	107,465,530	施設整備等支出計	2,712,650
経常収入計	556,320,714	施設整備等資金収支差額	△ 2,712,650
		その他の支出	19,358,800
施設整備等収入計	0	財務支出計	19,358,800
その他の収入	3,400,230	財務活動資金収支差額	△ 15,958,570
財務収入計	3,400,230		

貸借対照表

平成23年3月31日現在(単位:円)

資産の部		負債の部	
流動資産	220,244,131	流動負債	30,547,263
・預貯金	166,185,139	・未払金	27,214,448
・未収金	54,058,992	・預り金	3,332,815
固定資産	650,918,646	固定負債	197,871,710
【基本財産】	316,454,068	・退職給付引当金	195,163,310
・特定預金	10,000,000	・脱退一時引当金	2,708,400
・建物	256,541,468	負債の部合計	228,418,973
・土地	49,912,600	純資産の部	
【その他の固定資産】	334,464,578	基本金	59,912,600
・建物	2	・第4号基本金	59,912,600
・建物附属設備	255,364	国庫補助金等特別積立金	254,247,280
・構築物	1	・国庫補助金等特別積立金	254,247,280
・車両運搬具	4,418,744	その他の積立金	133,305,000
・器具及び備品	13,742,956	・社会福祉基金積立金	60,000,000
・リース契約預託金	507,700	・地域福祉基金積立金	73,305,000
・ソフトウェア	213,891	次期繰越活動収支差額	195,278,924
・福祉基金貸付金	25,000	・次期繰越活動収支差額	195,278,924
・退職共済預け金	179,287,520	(うち当期活動収支差額)	△ 15,642,039
・脱退一時預け金	2,708,400	純資産の部合計	642,743,804
・社会福祉基金積立預金	60,000,000	負債及び純資産の部合計	871,162,777
・地域福祉基金積立預金	73,305,000		
資産の部合計	871,162,777		

減価償却費累計額

184,847,683円

当期資金収支差額合計	△ 5,665,281
前期末支払資金残高	195,362,149
当期末支払資金残高	189,696,868

財務諸表は本所総務課で閲覧できます。

善意のお礼

2月1日～
4月30日
受付分

国東市社会福祉協議会へ次の方々から社会福祉に役立てて欲しいと、心温まるご寄付をいただき、ありがとうございました。皆様のご厚情に対しまして厚くお礼申し上げます。故人のご冥福をお祈り申し上げます。

●香典返し寄付

(市内)

(国見町)

栗川	丸小野	紀	花岡	吉本	竹丸	野田	小野	吉武	田中	丸小野	古森	津崎	田邊	紀	野口	江本	都留	栗川	
林部	敏彦	美都子	勝也	俊彦	道雄	丸十	千二	尚文	徹治	文子	利幸	照榮	カノエ	幸夫	統太郎	雅春	茂生	榮治	
公一様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様
(故)	(故)	(故)	(故)	(故)	(故)	(故)	(故)	(故)	(故)	(故)	(故)	(故)	(故)	(故)	(故)	(故)	(故)	(故)	(故)
誠	陸子	君代	シズカ	眞一郎	重義	シゲノ	ヤエ子	ヤエ子	谷ヨコ	井サヨ	利隆	勝雄	秀幸	和子	リツ	勝己	アヤマ	松男	
様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様

藤嶋	小原	吉武	田邊	森光	平野	山本	西川	山本	丸岡	村上	田川	徳丸	西丸	衣川	福本	上野	磯辺	田中	秋吉	末廣	佐藤	猪下	中本	佐野	山崎	田原	渡邊	岡部	福田	大田	小田	
五道	義幸	幸二	利恵子	英明	峯良	エチ	キヨ子	義隆	和子	義浩	晋治	宣昭	俊昭	利博	耕作	勝士	照宏	雅宏	香代子	初美	泰生	義文	益光	和幸	文寛	昭治	英治	扶士子	榮江	次源	源次	
男様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様
(故)	(故)	(故)	(故)	(故)	(故)	(故)	(故)	(故)	(故)	(故)	(故)	(故)	(故)	(故)	(故)	(故)	(故)	(故)	(故)	(故)	(故)	(故)	(故)	(故)	(故)	(故)	(故)	(故)	(故)	(故)	(故)	(故)
信子	義男	トミエ	強	五郎	スヰカ	豊喜	賢司	広美	昭二	裕章	サツキ	美和子	芳美	イセコ	眞理子	墨敏	振吉	實	キクエ	良子	春美	洋子	長木正孝	富香	ミドリ	潔	綱義	絹子	逸雄	濱子		
様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様

(安岐町)

安部	足立	松原	河野	秋吉	木田	藤井	吉田	村田	貝上	湖上	鴛海	田尻	溝口	小田原	堀嶋	手嶋	財前	古卷	田邊	穴見	伊藤	清末	岩元	成原	木村	甲原	高井	瀧口	加藤	相部	花保		
ユキ子	宏次	優美子	勝子	康男	昭治	勇一	正信	光比古	光正	勝元	ヤス子	直光	富茂	康雄	喜代美	幸吉	文章	美恵子	今朝秋	有朋	健治	昭治	邦由	義勝	安恵	文男	精治	嘉弘	博昭	泰憲	憲憲		
様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様
(故)	(故)	(故)	(故)	(故)	(故)	(故)	(故)	(故)	(故)	(故)	(故)	(故)	(故)	(故)	(故)	(故)	(故)	(故)	(故)	(故)	(故)	(故)	(故)	(故)	(故)	(故)	(故)	(故)	(故)	(故)	(故)	(故)	(故)
フサ子	哲夫	一彦	弘好	哲文	ミチコ	勝己	住江	准一	智則	国勝	今朝治	健一	カツ	文則	貞幹	喜代子	アヤコ	トシエ	繁	榮	冴子	ミサラ	ヨシ江	義輝	吉満	千鶴	キミ	政利	博隆	ハツエ	龍馬	保男	
様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様

(市外)

筑紫市	古庄	恭一	様
別府市	藤井	宏幸	様
大分市	瀧上	公三	様
福岡県	明石	日出年	様
熊本県	脇	一彦	様
広島県	塚本	隆	様
		晋	様

●物品寄付

武蔵町	徳丸	宏司	様	介護用ベッド	1台
国東町	前田	慶子	様	ポタフルトイレ	1台
安岐小学校児童会			様	車イス	2台
名鉄観光協定旅館			様	車イス	1台
ホテル連盟大分地区会			様	車イス	1台
名鉄観光サービス			様	車イス	1台
株式会社大分支店			様	車イス	1台



4月28日、大分県総合社会福祉会館にて、県社協善意銀行（右記2団体から県社協への寄付物品）の贈呈式があり、国東市社協には車イス2台を頂きました。個人や団体・企業、皆さまに支えられて地域福祉は向上します。



社協会員を募集します

社協では毎年7月に会員を募集します。社協の使命は地域福祉の推進ですが、その地域福祉事業の多くは社協に賛同する会員の会費をはじめとした皆さまの善意によって支えられています。しかしながら社協の経営状態は年々厳しさを増しているのが現状です。これからも国東市の地域福祉を充実させるために、より多くの市民の皆さまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

(詳しくは7月の区長文書をご覧ください)

【社協会費】	一般会員	500円/年
	特別会員	2,000円/年
	賛助会員	5,000円/年
	団体会費	10,000円/年

東日本大震災義援金にご協力を！

社協では東日本大震災義援金の募金箱を本所・各支所の窓口に設置しています。皆さまからお寄せ頂いた募金は共同募金会を通じて被災地に送ります。

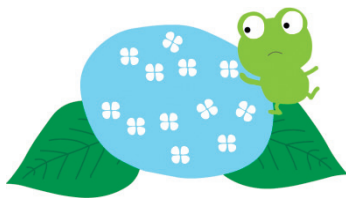
直接送金を希望される方は社協の本所・各支所にご連絡ください。

皆さまのご協力をお願いいたします。

お詫び

前号の5ページ本所欄(武蔵地区一人暮らし高齢者のつどい)で間違いがありました。お詫び申し上げたのとおり訂正させていただきます。

【正：武溪保育所 誤：武蔵第二保育園】



社会福祉協議会は、皆さまと共に地域福祉を推進する民間の法人です。

発行 社会福祉法人 国東市社会福祉協議会

本所 〒873-0412 国東市武蔵町古市 1086 番地 1
TEL 0978-68-1976 FAX 0978-68-1677
URL <http://www.kunisaki-wel.or.jp/kunisaki-wfc/>
Mail head.office@kunisaki-wel.or.jp

国見支所 〒872-1401 国東市国見町伊美 2225 番地 1
TEL 0978-82-1107 FAX 0978-82-1285

国東支所 〒873-0644 国東市国東町浜崎 2757 番地 5
TEL 0978-74-1151 FAX 0978-74-0477

安岐支所 〒873-0222 国東市安岐町下山口 38 番地 1
TEL 0978-67-1283 FAX 0978-67-1398

困ったときの相談窓口です。寄せられたご相談の内容・個人情報には堅くお守りします。

2011年夏のボランティア体験月間

夏休みにボランティアをしてみませんか？

今年も「夏のボランティア体験月間」が始まります！夏休み期間中にいろんな福祉施設などで短期のボランティア活動を体験するこの事業。毎年、参加者からは「子どもの笑顔に癒された」「高齢者の話は勉強になる」「働く人の大変さがわかった」「またボランティアしたい」など、普段できない体験で多くの感動を手に入れたという感想が寄せられています。

あなたもこの夏、感動体験してみませんか？
お申し込みは社協の本所・各支所にご連絡ください！



無料法律相談会

社協では今年度も弁護士による上記相談会を実施します。開催予定日は下記のとおりですので、ご利用希望者は社協の本所・各支所にご連絡ください。時期が近づいたら改めて区長文書でお知らせします。

国見地区 (国見保健福祉センター)

平成23年 9月13日(火) 13:30~
平成24年 2月23日(木) 13:30~

国東地区 (国東福祉センター)

平成23年 9月13日(火) 10:00~
平成24年 2月23日(木) 10:00~

武蔵地区 (武蔵保健福祉センター)

平成23年 8月30日(火) 13:30~
平成24年 2月7日(火) 13:30~

安岐地区 (安岐老人憩の家)

平成23年 8月30日(火) 10:00~
平成24年 2月7日(火) 10:00~

編集後記

災害は忘れなくてもやってくる！前号で防災の記事を載せて発行した4日後に東日本大震災が発生しました。消防団員の私は「もし豊後水道が震源だったら間に合わなかったらどうな…」と思いながら大津波警報の沿岸警備に出動しました。いつ来るかも知れない災害に対して人が出来ることは「備える」ことだけではないでしょうか。避難経路や防災用品の確認・家具の固定や家族・近隣住民との集合場所の確認など「備え過ぎる」ことはありません。迅速な避難や安否確認は日頃の備えなくしては難しいものです。いま一度自分の身の回りの『備え』を確認しましょう。心の不安が減ることは地域福祉の向上にもつながると思います。国東市に平穏な日々が続きますように(M)